

各課DX計画

2026–2028年度

本計画は、南部町における各組織のデジタルトランスフォーメーション（DX）計画を一覧化したものです。各課が目指す姿と重点テーマを明確にし、3か年にわたる段階的な取り組みを示しています。職員全員がデジタル人材となり、住民サービスの質を飛躍的に向上させることを目指します。

総務課 DX計画

いのちを守るDX

目指す姿

働き方改革と人材育成を通じ、職員全員がデジタル人材となるとともに、「いのちを守るDX」により、災害に強い組織を実現する。



職員のデジタルスキル底上げ

全職員を対象とした体系的な人材育成プログラムを展開し、デジタルリテラシーの向上を図ります。



防災情報発信・共有のデジタル化

リアルタイムでの情報共有と迅速な意思決定を可能にする防災DXシステムを構築します。



テヒラ役場等を活用した防災DX

住民がスマートフォンから防災情報にアクセスできる環境を整備します。



テレワーク環境の整備

業務継続性を確保するため、柔軟な働き方を支えるインフラを構築します。

2026年度

防災情報・庁内連携DX、テレワーク基盤整備

1

2

2028年度

人材育成・危機管理DXの定着

3

2027年度

平時・有事一体運用の実現

未来を創る課 DX計画

🔗 関係人口拡大

目指す姿

持続可能な地域を実現し、関係人口とつながるDXを推進する。

住民自治のDX

地域振興協議会・集落活動をデジタル技術で支援し、住民主体の地域づくりを加速させます。

たすカードの多様な活用

関係人口を把握するためのツールとしての活用など、地域通貨以外の用途への展開を図ります。

観光DX・交通DX

観光情報のデジタル化と交通手段の最適化により、来訪者の満足度を高めます。



2026年度

地域・関係人口向けDX施策創出



2027年度

実装・横展開



2028年度

南部町モデル化

📌 重点施策：SNSを活用した情報発信により、町内外への魅力発信を強化し、関係人口の拡大につなげます。

町民生活課 DX計画

総合窓口DX

目指す姿

「来なくてもできる総合窓口」を実現し、窓口業務の標準化を進める。

01

来庁不要な手続きの拡大

オンライン申請システムの導入により、住民の時間的・物理的負担を大幅に軽減します。

03

マイナポータル・コンビニ交付活用

24時間365日、どこでも証明書取得が可能な環境を整備します。

05

チャットボット活用

AIによる自動応答で、住民からの問い合わせに24時間対応します。

02

書かない窓口の実現

申請書の自動作成システムにより、窓口での記入作業を不要にします。

04

マニュアルのデジタル化

動画・可視化により、職員の対応品質を均一化し、住民サービスの向上を図ります。

06

窓口現金のキャッシュレス化

スマートな決済手段を提供し、現金管理の負担を軽減します。

2026年度

主要手続DX・標準化

2027年度

利用拡大

2028年度

原則デジタル化

税務課 DX計画

納税者利便性向上

目指す姿

DXにより納税者の利便性と収納率を向上させ、職員業務を省力化する。

重点DXテーマ

- **コンビニ交付による証明書発行**
全国のコンビニエンスストアで税関連証明書の取得を可能にします。
- **e-TAX／el-TAXによるオンライン申告・納付**
電子申告・納付の利用促進により、納税者の手続き負担を軽減します。
- **業務手順の見直し・最適化**
業務プロセスを抜本的に見直し、効率化を実現します。
- **業務マニュアル化・見える化**
標準化されたマニュアルにより、業務品質を向上させます。
- **既存サービスのオンライン化**
各種サービスをオンライン化し、窓口の混雑緩和を図ります。



建設課 DX計画

☒ インフラ管理革新

目指す姿

現地に行かなくてもできるインフラ管理と手続きDXを実現する。



道路・橋梁のスマートメンテナンス

ドローンを活用した遠隔点検により、安全性を確保しながら点検業務を効率化します。人が立ち入りにくい場所も容易に確認でき、データの蓄積により予防保全が可能になります。



ため池監視のスマート化

センサーとIoT技術により、ため池の水位や状態を24時間遠隔監視します。異常の早期発見により、災害リスクを低減します。



上水道スマートメーター導入

自動検針により、検針業務の効率化と水道使用状況のリアルタイム把握を実現します。漏水の早期発見にも貢献します。

さらに、手続き・支払いのオンライン化、業務マニュアルの見える化を進め、住民と職員双方の利便性を向上させます。

2026年度

インフラ管理DX

2028年度

高度化・定着

2027年度

手続きDX拡大

産業課・農業委員会事務局 DX計画

農業振興DX

目指す姿

農業振興の裾野を広げ、簡略化・省力化を進めるDXを推進する。

施設予約・管理のデジタル化・一元化

農業関連施設の予約・管理システムを統合し、利用者の利便性を向上させます。空き状況の可視化により、施設の有効活用を促進します。

補助金事務のDX化

申請から交付までのプロセスをデジタル化し、農家の事務負担を軽減します。審査期間の短縮により、タイムリーな支援を実現します。

農地情報の一元化

農地台帳、耕作状況、所有者情報などを統合管理し、農地の有効活用を推進します。GIS（地理情報システム）との連携により、視覚的な情報把握が可能になります。

業務効率化：情報共有・会議効率化、業務プロセス棚卸しにより、職員がより農業振興の本質的な業務に集中できる環境を整備します。

健康対策課 DX計画

♡ 元気を支えるDX

目指す姿

デジタル技術で、元気な人がより元気になり、支援の質を高める。

予約申込のオンライン化

健診・相談会などの予約をスマートフォンから24時間可能にし、住民の利便性を向上させます。

意識啓発・情報発信

SNSや動画コンテンツを活用し、健康づくりに関する情報を効果的に発信します。

訪問記録のデジタル化

タブレット端末による訪問記録の入力で、保健師の業務効率を大幅に改善します。

健康データ活用

蓄積された健康データを分析し、効果的な健康施策を展開します。

AI活用

AIによる健康リスク予測や相談対応により、きめ細かな支援を実現します。

支援対象者情報共有

関係部署間での情報共有により、切れ目のない支援体制を構築します。

福祉政策課 DX計画

👉 寄り添う福祉DX

目指す姿

DXで無駄を省き、職員が住民と向き合う時間と質を高める。

業務プロセス見直し

福祉業務の流れを根本から見直し、真に必要な業務に注力できる体制を構築します。

手続きオンライン化

各種福祉サービスの申請手続きをオンライン化し、来庁の負担を軽減します。

ペーパーレス化

文書の電子化により、情報検索の迅速化と保管スペースの削減を実現します。

これらの取り組みにより、職員が住民との対面相談や訪問支援など、人でなければできない業務に時間を割けるようになります。また、交通手段効率化の検討や支援対象者情報共有により、福祉サービスの質をさらに向上させます。

- ❑ DXの本質：テクノロジーは手段であり、目的は「人と人とのつながり」を深めることです。デジタル化により生まれた時間を、住民との対話に充てることで、真に必要な支援を届けます。

子育て支援課 DX計画

 デジタル世代対応

目指す姿

デジタル世代のニーズに合致した情報発信と手続を実現する。

- 1 SNSやAIを活用し、利便性を向上化**
子育て世代が日常的に利用するSNSを活用した情報発信や、チャットボットによる問い合わせなど、AI技術を活用し、利便性を向上します。
- 2 子育て支援手続のオンラインパッケージ化**
妊娠届から保育所入所申請まで、子育てに関する各種手続きをオンラインで完結できるパッケージを提供します。
- 3 少子化対策の全課横断パッケージ化**
住宅、雇用、教育など、複数課にまたがる子育て支援策を統合的にパッケージ化し、SNSを活用して効果的に提供します。
- 4 保育のデジタル化**
保育園との連絡帳アプリや登降園管理システムの導入により、保護者と保育士双方の負担を軽減します。

デジタルネイティブである若い世代の親にとって、スマートフォンでの手続きや情報取得は当たり前のニーズです。このニーズに応えることで、南部町での子育てをより魅力的なものにします。

西伯病院 DX計画

医療DX

目指す姿

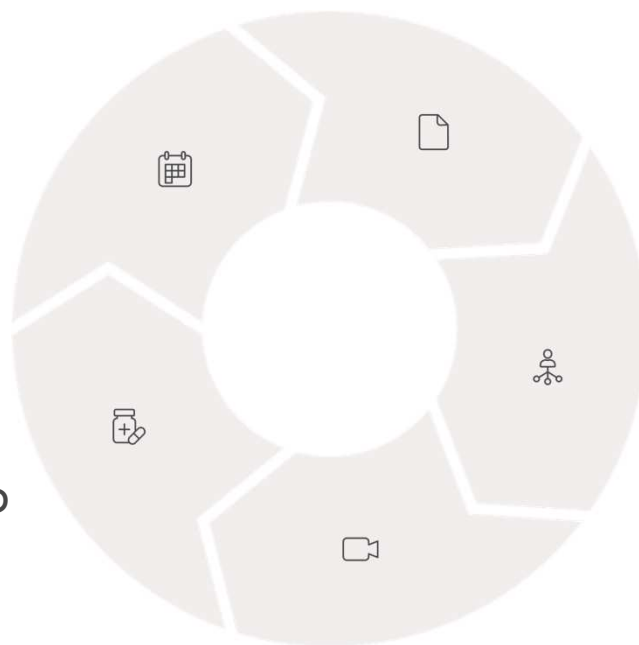
医療の質を高め、地域医療構想をDXで実現する。

予約・窓口手続オンライン化

診療予約から受付、会計までをオンライン化し、待ち時間を削減します。

デジタル機器による省力化・高度化

医療機器とAI技術の連携により、診断精度の向上と医療スタッフの負担軽減を両立します。



医療情報のペーパーレス化

電子カルテの高度活用により、医療情報の一元管理と迅速な共有を実現します。

医療連携DX

地域の医療機関との情報連携を強化し、切れ目のない医療提供体制を構築します。

オンライン診療拡大

遠隔診療の対象を拡大し、通院が困難な患者の医療アクセスを改善します。

これらの取り組みにより、地域に根差した質の高い医療を持続的に提供し、住民の健康と安心を守ります。

出納室 DX計画

会計DX

目指す姿

スマホで収納・支払いできる会計DXを実現する。

重点DXテーマ

- **公金収納のオンライン化**
各種料金・税金の支払いをスマートフォン決済アプリやクレジットカードで可能にし、住民の利便性を大幅に向上させます。窓口や金融機関に行く手間を省き、24時間いつでも支払いができる環境を整備します。
- **請求書等のペーパーレス化**
請求書や領収書の電子化により、郵送コストの削減と発行スピードの向上を実現します。住民はマイページから随時確認できるようになります。
- **支払手数料削減**
デジタル決済の導入により、現金取扱いに伴うコストと手数料を削減し、効率的な会計業務を実現します。

24

時間

いつでも支払い可能

365

日

年中無休でサービス提供

会計DXは、住民サービスの利便性向上と業務効率化を同時に実現する重要な取り組みです。キャッシュレス化の推進により、南部町全体のDX推進を加速させます。

議会事務局 DX計画

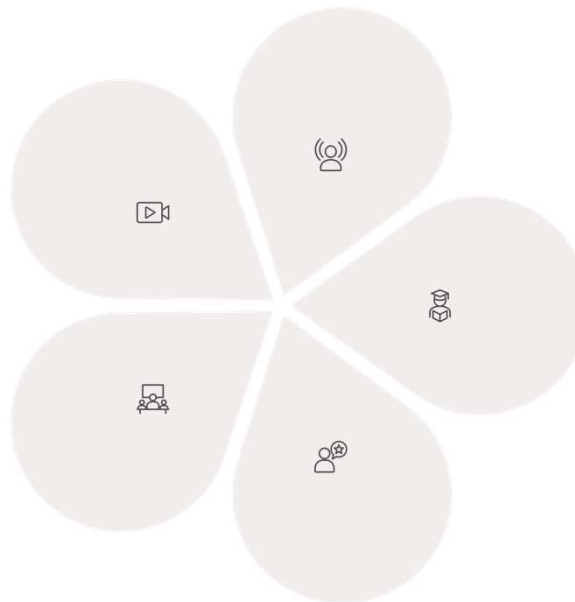
開かれた議会DX

目指す姿

議会に関心を持つ人を増やし、町政に反映するDXを推進する。

議会活動のDX
ペーパーレス化、オンライン会議の活用

オンライン会議活用
柔軟な会議開催と参加機会の拡大



議会情報発信

動画配信、SNS活用による透明性向上

議員デジタル人材育成

ICTスキル向上による活動の高度化

住民の声を反映するDX

オンラインアンケート、意見収集の効率化

議会のDX化は、住民と議会の距離を縮め、より身近で開かれた議会を実現します。インターネット中継やアーカイブ配信により、時間や場所の制約なく議会活動を知ることができ、住民の関心と参加意識の向上につながります。

図書館 DX計画

🏠 いつでもアクセス

目指す姿

いつでもどこでもアクセスできる学びと居場所を提供する。

HP・SNS活用

図書館の魅力的なコンテンツをホームページやSNSで積極的に発信し、新しい利用者層の開拓を図ります。おすすめ本の紹介やイベント情報をタイムリーに届けます。

郷土資料アーカイブ化

貴重な郷土資料をデジタル化し、劣化を防ぎながら広く公開します。南部町の歴史や文化を後世に継承する重要な取り組みです。

デジタルとアナログ融合

デジタル技術を活用しながらも、紙の本の価値や図書館という物理的空間の重要性を大切に、両者の良さを活かしたハイブリッドな図書館を実現します。

予約・連絡の効率化

オンライン予約システムにより、24時間いつでも図書の予約や貸出延長が可能になります。メールやアプリでの連絡により、利便性が向上します。

電子書籍検討

電子書籍の導入可能性を検討し、場所や時間を問わない読書環境の提供を目指します。

人権・社会教育課 DX計画

参加しやすい社会教育

目指す姿

誰もが参加できる社会教育と文化財活用をDXで実現する。

施設予約の利便性向上

公民館等のオンライン予約システムにより、いつでも施設の空き状況確認と予約が可能になります。

イベント申込・アンケートDX

オンラインフォームにより、参加申込や意見収集を効率化します。

ペーパーレス化

端末整備・LGWAN範囲拡大により、資料の電子化を推進します。

AI活用

わかりやすい資料作成や問い合わせ対応など、AI技術を活用し、業務の効率化を図ります。

SNS活用

イベント情報や活動報告を効果的に発信し、参加者を増やします。

デジタルアーカイブ

図書館と連携し、文化財や歴史資料をデジタル化して広く公開します。

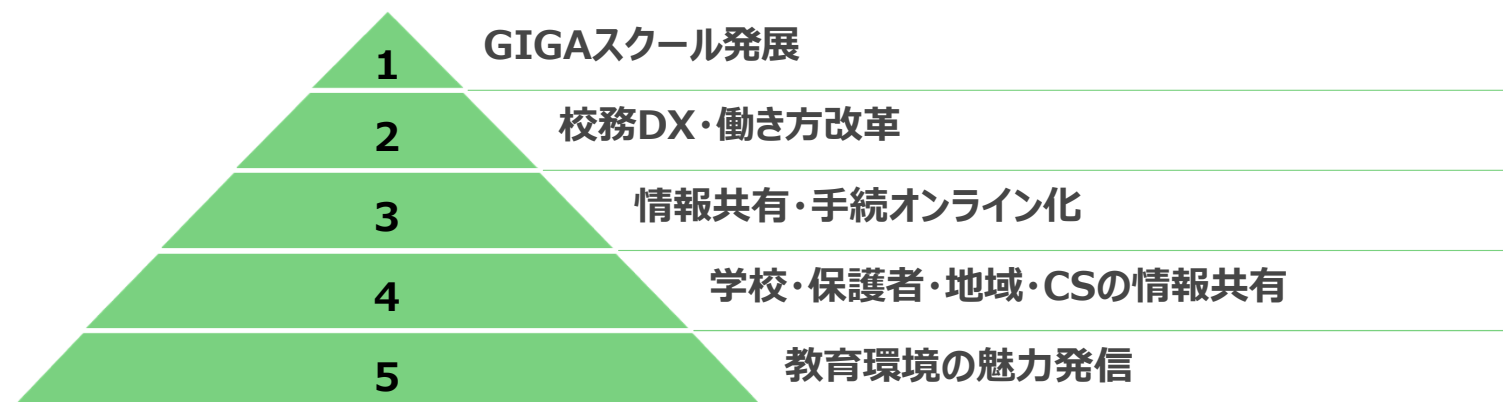
□ **包摂性の重視**：デジタル化を進める一方で、デジタルに不慣れな方への配慮も忘れません。対面での対応とデジタルツールを組み合わせ、すべての住民が社会教育活動に参加できる環境を整備します。

総務・学校教育課 DX計画

未来の教育DX

目指す姿

地域とともにある学校と教育力向上をDXで支える。



ピラミッドの頂点にあるGIGAスクール構想の発展を支えるため、基盤となる校務のDX化、情報共有の効率化を段階的に推進します。

具体的な取り組み

- 欠席連絡や各種届出のオンライン化により、保護者の負担を軽減
- 学校と保護者、地域、コミュニティスクール（CS）間の円滑な情報共有基盤を構築
- SNS等を活用した南部町の教育環境の魅力発信により、子育て世代の定住促進
- 1人1台端末を活用した個別最適化された学びの実現
- 校務支援システムによる教員の業務効率化と働き方改革

デジタル推進課 DX計画

1. 全庁DX推進

目指す姿

来なくても手続きができ、質の高いサービスを提供できる役場を実現する。



職員・住民DX人材育成
全職員と住民のデジタルリテラシー向上



全課の情報配信力向上
各課の効果的な情報発信を支援



移動役場活用
どこでもなんぶ号による地域密着サービス



好事例の横展開
成功事例を全庁で共有し、効果を最大化



デジタルネイティブ×デバインド対策
誰も取り残さないDX推進



全課テノヒラ役場サービス拡充
スマホで完結する行政サービスの実現

デジタル推進課は、全庁のDX推進を支える司令塔として機能します。各課のDX推進計画の実行を支援し、横断的な取り組みを推進することで、南部町全体のデジタル化を加速させます。

2026-2028年度の重点：全課のテノヒラ役場サービス拡充と情報配信力向上を軸に、職員と住民双方のDX人材育成を推進します。好事例を横展開し、デジタルデバインド対策にも注力することで、誰もが恩恵を受けられるDXを実現します。